

5月 里親会主催の乗馬体験（大山乗馬センター）へ 姉妹で参加させていただきました。ふたは勇気が出ず乗馬はできませんでしたが、代わりに羊やポニーのエサやり体験を楽しみました。厩舎の中は馬たちが大迫力でお出迎え。恐る恐る通り抜け無事脱出成功。久々に里親さんと交流もできて良い日でした。



さくら
桜ホーム
女子
地域小規模（湊町）

子ども達の生活の様子

6月 梅雨入りして気分が沈みがちな朝 小学6年生の女の子も朝から浮かない表情。登校班が来たのに「行きたくない」と言ってホームの玄関でもじもじ。時間をかけて行きたくない本当の理由を一つ残らず喋ったら心がスッキリして次第にいつもの笑顔が戻ってきました。その勢いのまま学校に向けて出発。今日は特別に職員とふたりで登校。着いてしまえば何てことなく、さっさと教室に上がっていきました。頑張ったね！



ひいらぎ
柁ホーム
男女混合

夏休み 鳥取市へお出かけ! 虫が大好きなホームの子どもたちと向かった先は昆虫展。大きな昆虫の模型が飾られていたり、ゴキブリになりきったり、クイズラリーをしたりと大満足でした。帰りかかにつこ館に寄り、海の生き物とも触れ合いました。生き物づくしの一日になりました。

夏休み プール遊び 潜ったり、ペットボトルを使って水を掛け合ったり、ワニさんになりきってみたり、シャワーで虹を作り皆で観察したり…子どものあそぶ力は無限大ですね！見ている私たちもほっこりしてしまうひと時でした。



因伯だより

児童養護施設
因伯子供学園
学園報

2025年秋号
(発行:2025/10)

〒682-0854
鳥取県倉吉市
みどり町3249

TEL (0858)
22-2639
FAX (0858)
47-0234



今年度から因伯子供学園で勤務しております太田陸と申します。僕は短大で保育について学んできました。社会的養護の講義を受ける中で「児童養護施設」について興味を持ち、地域の施設を調べる中で因伯子供学園について知りました。自分のお世話になった地域の子どもたちの笑顔を増やしたい、もっと身近に見てみたいと思いこの因伯子供学園に就職しました。子どもたちと過ごす毎日、はともかく早く時間が過ぎていき、あつという間に思えるときもありません。時に笑い合い、時に悩み、子どもたちとは様々な感情を共有し合っている気がします。仕事が大変だと思つ時もありますが、子どもたちと良い関わりができたなと感じたときや行事ごとで子どもたちと一体となつて盛り上がり、楽しむことができた際にこの仕事へのやりがいを感じています。

僕は絵を描いたり、物を作ったりすることが得意なので、この長所を子どもたちのために生かすことが出来たらと思えます。まだまだ駆け出しですが、どうぞよろしくお願い致します。

おおたりく
太田 陸



**ありがとうございます
ごさいます**

2025年3月から9月まで
ご寄付いただいた方々

(敬省略・順不同)

心より感謝申し上げます

- | | | |
|------------------------|-------|-------|
| カブス倉吉 | 妙 寂 寺 | 前田農園 |
| 遠藤茂子 | 河野桂子 | 永見和子 |
| 松田嘉人 | 桑田秋弘 | 極 楽 寺 |
| 臼田拓巳 | 植原守利 | 徳 林 寺 |
| 相見楓子 | 山下 誠 | B N R |
| 九鬼全弘 | 遠藤修子 | 白 水 諭 |
| 吉 祥 院 | 坂本一枝 | 匿 名 |
| 岡本岳大 | 大谷美津子 | |
| 倉吉はばたき人権文化センター | | |
| 倉吉市社会福祉協議会 | | |
| 24時間テレビチャリティー委員会 | | |
| 倉 吉 い わ く ら ー ず | | |
| ものづくりマイスター坂本順一 | | |
| ととり子どもの居場所ネットワークえんたく | | |
| 絵本の会「さくら」 | | |
| ソロプチミスト倉吉 | | |
| 第一生命株式会社鳥取支部 | | |
| おやこ食堂「おかえり」みんなの食堂「たたいま | | |
| オハヨー乳業株式会社中国営業所 | | |
| 田中健次郎田中紀代子因伯子供学園基金 | | |
| 倉吉市更生保護女性会 | | |



第一生命株式会社鳥取支部様より、プール一式の寄付を頂きました。今年も暑い日が続く、夏休み中はプールが大活躍でした。

白水諭様より、毎月子どもたちにホールケーキの寄付をしてくださっています。子どもたちの毎月のお楽しみになっています。



山下誠様より、うまい棒の寄付を頂きました。お菓子大好きな子ども達、両手いっぱいとうまい棒を抱えて、嬉しそうにしていました。

松田嘉人様より、ちよこっとチップの寄付を頂きました。他にも、せんべい等お菓子、アイスクリーム等もたくさん頂き、子ども達皆で美味しくいただきました。



副園長
こさかしゅーじ
小坂 宗司



日頃より地域、関係機関、学園応援の皆様にはご協力、ご支援いただきありがとうございます。今年度より副園長を拝命いたしました小坂宗司と申します。学園生活25年目になりました。未熟な為、重責に感じますが、子ども達が学園で過ごしたことを良かったと思ってくれるような支援や、職員が長く勤めてくれるお手伝いが出来ればと思っています。学園がより良い環境になるよう皆と力を合わせていきますので、学園を引き続きよろしく願いいたします！

編集後記

今回、秋号の編集に参加させていただきました。今年度も半年が過ぎ、ようやく過ぎやすい季節になりました。学園の子どもたちは、1カ月以上の夏休みを終え、元気に学校に通っています。今回の秋号では、ホームごとに、夏休みの子ども達の様子を中心に紹介しています。楽しんで読んでいただければと思います。広報誌担当：梶本

広報誌編集メンバーも代わり、この度の編集となりました。今後新しい工夫や変化など大切に編集していくよう努力します。今後ともよろしく願いいたします。広報誌担当：林原



花火大会に行きました!
回り切れないほどの屋台と夜空を彩る花火をみんなで楽しみました!小学生たちはくじ引きに挑戦...お目当ての一等賞は当てることはできませんでしたが、帰ってから当たった景品でたくさん遊んでいました!高校生たちは屋台のグルメを堪能。食べきれなかった分はお持ち帰りして美味しくいただきました!😊



夢みなとタワーに行きました!
「魔法の美術館」というイベントが開催されており、きれいな光や音を楽しみました。小学生が夢中になる中、先に回り終わった高校生が静かに見守ってくれており、とてもほっこりしました😊水木しげるロードにも行き、境港を満喫しました。

夏休みに銅板レリーフ作りを体験しました。坂本順一様をはじめ2名の講師の方に分かりやすく丁寧に教えていただき30分ほどで完成。それぞれが好きな文字を銅板に浮き上がらせました。完成したレリーフは写真立てに入れて飾っています。貴重な体験をありがとうございました。



レークサイド大栄に行きました! 大きな滑り台、ジャングルジム、ブランコで汗びっしょりになるまで遊んだ後は、かき氷を食べて、夏休み最終日を満喫しました!😊



鳥取市方面までお出かけ!
みんなでラーメンを食べました!育ち盛りなので全員大盛りを頼んでいました😊職員さん一押しのラーメン、「美味しい!」と子どもたちから絶賛されていました!



浄土真宗本願寺派のお寺様より、「パースデーケーキプロジェクト」として、誕生日を迎えた子ども一人一人にケーキの寄付をしてくださっています。いつもおいしいケーキありがとうございます!

行事紹介

ちまき作り

6月7日、ちまきづくりを行いました。今年も地域の方々をお招きして開催しました。地域の方々がちまきの包み方を教えて下さり、子どもたちも真剣に聞く姿がありました。楽しく会話をしながらちまきづくりをするのができ、地域の方々との交流を深めた良い時間でした。ちまきを蒸している間もみんなでビンゴ大会をしたり、因伯の新人職員さんの紹介をしたりと楽しい時間を過ごしました。今年もたくさんの方々に参加していただき、楽しいちまきづくりになりました。ありがとうございました😊



そうめん流し

7月21日、海の日、18時より学園駐車場で行いました。晴天の下に町内から20名参加され、子どもたちも夏休みの楽しい思い出になったと思います。初めておやこ食堂「おかえり」を運営しておられる方々が参加されてそうめんだけではなくポテトチップスも好評でした。じゃんけんゲームもあり、盛り上がりお越しいただいた皆様ありがとうございました。また来年も暑い夏だと思えますが、企画できればと思います。お楽しみに★(森下)

新人職員紹介

てしまなる 豊嶋成



今年度から因伯子供学園で勤務しております。豊嶋成と申します。4月から6月までは終ホームに所属し、6月からは短ホームで勤務しております。短期大学では、保育について学び、在学中の実習では、因伯子供学園にもお世話になりました。実習を通じて、職員同士の連携や優しい関わりが子どもたちの心の安定につながる事を学び、私もその一員として積極的に関わっていきたく感じました。今後は、子どもの小さな変化や気持ちに寄り添い、信頼関係を築くことで安心して過ごせる環境づくりに努めます。子どもたち一人ひとりに合った関わりができるよう、日々、先輩職員とのやり取りや実践を通して学び、成長していきたく思います。よろしくお願いたします。

いけだまい 池田麻衣



はじめまして。3月より当園で児童指導員として勤務しております池田麻衣と申します。大学では社会学を専攻し、現在子育ての真っ最中ですが、思春期の頃に抱いた「子どもたちの学びや生活を支援する仕事がしたい」という夢を叶えるために入職しました。保育士や心理士など多職種のスタッフと連携しながら、先輩職員の温かい対応や言葉の重さから多くを学ぶ日々です。子どもたち一人ひとりへの声掛けや関わり方に悩むことや、時にはぶつかることもありすが、子どもたちから得られるものも多く共に成長しあえる場所であると実感しています。クスッと笑い合える時間を大切にしながら、「今日も楽しかったね」と安心して過ごせる関係を築くことを目指しています。また、子どもたちの自立を手助けする中で「出会えて良かった」と思えるような支援をしていきたいです。家族に近い存在のひとりとして、信頼される大人になれるよう一日一日を大切に過ごしていきたいです。